

# こがねい 市議会だより

平成30年  
第3回定例会  
第262号

平成30年(2018年)  
11月28日発行

発行／小金井市議会

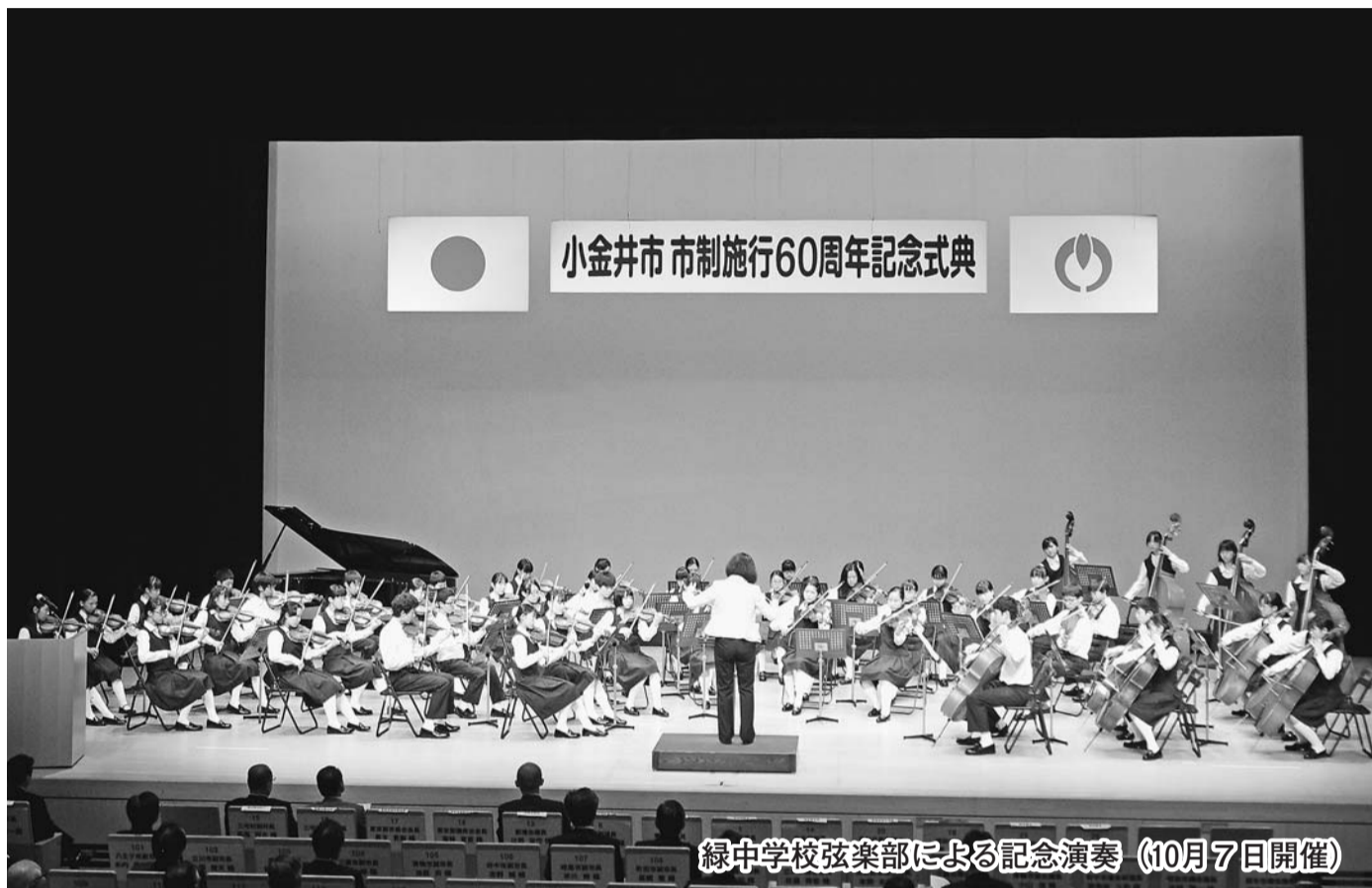
編集／広報協議会

小金井市議会ホームページアドレス

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号 TEL(042)387-9947(直通) FAX(042)387-1225

<http://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/>

shisei/gikaijimukyoku/



緑中学校弦楽部による記念演奏(10月7日開催)

## 平成29年度 一般会計決算を不認定

### 第3回定例会の概要

平成30年第3回定例会(五十嵐京子議長)は、8月30日に開会し、10月5日に閉会しました。

#### 平成29年度歳入歳出決算について

一般会計の歳入総額は427億5千489万2千円(前年度対比1%増)、4つの特別会計(国民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療)を含めると660億3千604万8千円(前年度対比0.3%増)となりました。また、一般会計の歳出総額は401億1千808万円(前年度対比0.3%減)、特別会計を含めると630億1千330円(前年度対比0.8%減)となりました。

この決算について、8月31日の本会議で議長を除いた23人で構成する決算特別委員会(遠藤百合子委員長)に付託し、9月27日から10月3日までの計5日間、約40時間にわたり審査を行いました。

10月5日の本会議において、一般会計については、起立採決の結果、起立多数により不認定としました。また、4つの特別会計を認定しました。

#### 職員の給与に関する条例一部改正、平成30年度一般会計補正予算(第3回)を可決

本条例は、職員の勤勉手当の年間支給月数について、東京都人事委員会勧告等を踏まえ、正規職員は、平成28年度の0.1か月分、平成29年度の0.1か月分、平成30年度の0.2か月分を引き上げ、他市と同水準の4.5か月分とするほか、再任用職員は、平成28年度の0.05か月分、平成29年度の0.05か月分、平成30年度の0.1か月分を引き上げるため、市長から改めて提案するものです。また、併せて本条例に係る増額分として、4千661万3千円を本補正予算に計上するものです。

#### 平成30年度一般会計補正予算(第4回)を可決

本補正予算は、9月18日に市議会6会派12名より市長に対し、新庁舎(仮称)新福祉会館建設に係る4項目の申入れがあり、9月25日開催の庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会において、市長からこれまでの議論や本申入れを踏まえ、追加調査等を行うとの表明に基づくものです。(詳細は、8面「庁舎及び福祉会館建設」経過報告に掲載)

本補正予算は、新庁舎(仮称)新福祉会館建設の推進に当たり更なる市民の理解を得られるよう、市と市議会との相互理解を促進し、より多くの賛同が得られる施設配置案を作成するための追加調査の委託とともに、5回の市民説明会を開催するための保育士謝礼、手話通訳者謝礼を計上するものです。10月5日の本会議において、委員会付託を省略し、起立採決の結果、起立多数により可決しました。

### 平成30年第3回 定例会日誌

日	内容
【8月】	30日 本会議(議案の審議・採決)
31日 本会議(議案の審議・委員会付託・採決)	
【9月】	4日 本会議(一般質問)
5日 本会議(一般質問)	
6日 本会議(一般質問)	
7日 本会議(一般質問、議案の審議・委員会付託、陳情の委員会付託)	
10日 厚生文教委員会	
11日 建設環境委員会	
12日 総務企画委員会	
13日 予算特別委員会	
14日 議会運営委員会	
18日 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会	
19日 行財政改革推進調査特別委員会	
20日 総務企画委員会	
25日 本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決)	
27日 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会	
27日 決算特別委員会	
28日 決算特別委員会	
【10月】	1日 決算特別委員会
2日 決算特別委員会	
3日 決算特別委員会	
5日 本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)	

#### 日曜議会を開催します

平日に傍聴へ来られない方にも議会の様子を知っていただくため、日曜議会を開催します。当日は、各議員が一般質問を行いますので、ぜひ、お越しください。  
日時 12月2日(日) 午前10時から  
場所 議場(市役所本庁舎4階)  
その他 手話通訳を行います。



# 審議した主な議案

## 平成29年度一般会計 歳入歳出決算の認定について

決算の概要は1面に掲載しています。

### 賛成討論 (要旨)

沖浦あつし (こがあす)

行財政改革で約3億円の効果、市町村総合交付金3・6億円の増額査定を受けた経営努力、市職員残業時間10万時間を切った内部努力、そして就学前児童の人口増加の事実、子育て対策を始めとする民生費への予算充当による政策効果である点を評価する。将来の人口減少時代においても本市の生産年齢人口を維持していくために、「このまちで子育てをしたい。移り住みたい」と選ばれるまちへの素地が現れてきた決算年度であり、その認定に賛成する。

### 反対討論 (要旨)

宮下 誠 (公明党)

決算年度は評価できる点は多いものの、看過できない重大な課題がある。一つ目は行財政改革の取組で、歳出総額が大きく膨らむ中、前年対比にて経常収支比率が1・6ポイント悪化したほか、人件費比率の値も0・2ポイント悪化した。二つ目は社会福祉委員への報酬誤支給の問題で、発覚後の対応の遅さから、市長による内部統制の脆弱さが露呈した。三つ目は新庁舎建設で、複合施設としての在り方が1年以上判明せず、市長の責任が問われる内容である。

### 反対討論 (要旨)

河野律子 (自民党・信頼)

法令遵守や適正な手続きは市政執行の基本であり、市民の市政への信頼の要である。市議会との信頼関係を失墜させる対応など、山積する課題解決に課題を残す決算年度であった。また、課題の人件費総額は連続して増額となり行財政改革は停滞、公

### 反対討論 (要旨)

田頭祐子 (生活者ネット)

当初予算では賛成し、決算では不認定の主な理由は、旧福祉会館用地地上権の合意解除の問題と社会福祉委員の報酬誤支給問題である。市と市民の関係性において発生したが、市長の明確な理念が見えない。社会福祉委員の報酬誤支給問題では、監査委員からも前例踏襲に陥らない点検と見直しを行い、適正な事務執行を強く求められた。

### 反対討論 (要旨)

水上洋志 (日本共産党)

第一に、24億円も繰り越す一方、就学援助の切下げ、保育料

また、一般会計から国民健康保険特別会計への繰入れは26市中最も低く、市民が支払う国民健康保険税額が最も高額だった。

### 反対討論 (要旨)

坂井えつ子 (緑・つながる)

庁舎・福祉会館建設の見通しが立ったことは評価する。リース庁舎解消は積年の課題であるが、不認定とした主な理由は3点。①社会福祉委員報酬誤支給発覚後の対応など市長判断の不適切さ。②障害者差別解消条例案の提案時に遺憾を表明せざるを得なかった地域自立支援協議会など、附属機関等における市民の声の軽視。③はけと野川を壊す都市計画道路に対し、市長の主体性が見られないこと。市長には、議員の指摘を受け止めつつも、ぶれないことを求む。

### 平成30年度一般会計 補正予算 (第2回)

8月31日の本会議において予算特別委員会(岸田正義委員長)に付託し、9月13日、20日の計2回にわたり審査を行いました。補正予算の主な内容は、今後の財政需要に備えた「財政調整基金積立金」(10億6千万円)、新庁舎建設推進と起債抑制に向けた「庁舎建設基金積立金」(8億円)、(仮称)新福祉会館建設に備えた「地域福祉基金積立金」(1億1万3千円)、保育士職

### 反対討論 (要旨)

森戸洋子 (日本共産党)

予算は、木造住宅の耐震化など賛成できる部分もある。しかし、繰越金19億6千516万7千円を、市民の生活に優先するのではなく、財政調整基金に10億円、庁舎建設基金に8億円、地域福祉基金に1億円を積み立てている。小中学校のトイレの洋式化、体育館のエアコン設置、保育園に対する巡回相談など多くの市民の願いが実現できていない。お金が多すぎたから、貯金するという無計画な財政運営は見直し、市民の願いの実現にお金を回すべきである。

### 賛成討論 (要旨)

渡辺ふき子 (公明党)

本予算の特徴は、木造住宅の耐震助成や教育指導費、スクールサポート事業など、多くは公明党が国・都へ要望し、連携で実現した補助金を活用している点である。今後は的確な財源の確保に努め、長年の課題や市民要望に応える市独自施策の導入も要望する。職員期末手当の増額予算については、職員待遇を維持する一方で、それに見合う行財政改革の成果も問われるが、職員数は増加し、改革は全く進んでいない。市長の提案姿勢を厳しく問い正したい。

### 賛成討論 (要旨)

村山ひでき (みらい)

市民参加重視の第5次基本構想・前期基本計画の策定、「はけの森美術館」来館促進策、総合学院テクノスカレッジ体育館の市民開放を評価する。特に、木造住宅の耐震診断、耐震改修の助成額を国と東京都の支援メニューを活用して、ほぼ倍額にすることは「最初の一步」として評価したい。今後は、周知のためダイレクトメール発送の拡大、

戸別訪問の実施なども検討し、更なる助成額の増額を考慮してほしい。以上の点について留意することを求め賛成する。

### 平成30年度一般会計 補正予算 (第3回)

9月7日の本会議において予算特別委員会(岸田正義委員長)に付託し、9月13日、20日の計2回にわたり審査を行いました。歳出予算の内容は、給与条例の改定により勤勉手当の年間支給月数の引上げを行うため「職員人件費その他」(4千661万3千円)を増額するものです。9月25日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 賛成討論 (要旨)

片山 薫 (市民力エル)

これまで職員給与に関し、正規職員の給与や手当を見直して非正規職員の待遇改善をすべきと求めてきたが、他市との格差が開いた事態は是正すべきである。相談業務など、継続的長期的な支援が必要で、資格のある正規職員しか担えない業務に対し、非正規化を進めることは、市民サービスの低下を招き、市役所への信頼を失うことにつながる。非正規職員の待遇改善と、やみくもな非正規化や民間委託、民営化はかえって行革につながらないため見直しを求める。

### 賛成討論 (要旨)

鈴木成夫 (みらい)

賛成の理由は次のとおり。①総務副大臣通知にも示されているとおり、公務員給与の適正維持のため、情勢適応・均衡の原則が規定されていること。②多摩26市のうち本市だけが低い現状は、均衡の原則に照らして不適切な状況であること。③他市が様々な知恵を凝らして優秀な人材確保の努力をしている現状で、本市の職員採用試験申込者数の減少が明らかになったことから、他市同様の給与水準を維持する重要性を考慮すべきであること。

### 反対討論 (要旨)

渡辺大三 (情報公開)

反対の理由は次のとおり。①職員ボーナスを0・2か月分

引き上げ、必要な財源は約5千万円の巨額。②西岡市長就任後、総額人件費は拡大の一途。市長公約「人件費削減」に明確に反する。③職員の給与等の最高額は千287万円。更に引き上げて千366万円にする必要があるとは到底思えない。④市民の個人市民税額は減少。生活は厳しさを増している。生活保護も拡大傾向。

### 賛成討論 (要旨)

白井 亨 (こがおも)

近隣市と比較すると本市の職員の初任給年額は、約4万円から7万円少ない。昨今、一般企業の採用競争は熾烈を極め、優秀な人材確保に各企業が躍起になっている。組織を強くするためにガバナンスとマネジメン

### 賛成討論 (要旨)

斎藤康夫 (市民会議)

かつて本市の人件費は一般会計予算の3分の1を占め、10億円を超えていた。しかし、時間がかかったが、現在は都の給料表に準拠し、1人当たりの給料は「他市並み」となった。本市は他市と比べて財政規模が小さく、市民サービスは他市より劣る。民間では業績の悪い会社の社員のボーナスは低いのが実態である。本市の職員の期末勤勉手当が他市より低いことは当然と発言してきたが、その責任は経営者である市長にあると考えを変えた。よって、賛成する。

### 賛成討論 (要旨)

齋藤康夫 (市民会議)

かつて本市の人件費は一般会計予算の3分の1を占め、10億円を超えていた。しかし、時間がかかったが、現在は都の給料表に準拠し、1人当たりの給料は「他市並み」となった。本市は他市と比べて財政規模が小さく、市民サービスは他市より劣る。民間では業績の悪い会社の社員のボーナスは低いのが実態である。本市の職員の期末勤勉手当が他市より低いことは当然と発言してきたが、その責任は経営者である市長にあると考えを変えた。よって、賛成する。

### 賛成討論 (要旨)

齋藤康夫 (市民会議)

かつて本市の人件費は一般会計予算の3分の1を占め、10億円を超えていた。しかし、時間がかかったが、現在は都の給料表に準拠し、1人当たりの給料は「他市並み」となった。本市は他市と比べて財政規模が小さく、市民サービスは他市より劣る。民間では業績の悪い会社の社員のボーナスは低いのが実態である。本市の職員の期末勤勉手当が他市より低いことは当然と発言してきたが、その責任は経営者である市長にあると考えを変えた。よって、賛成する。

### 賛成討論 (要旨)

齋藤康夫 (市民会議)

かつて本市の人件費は一般会計予算の3分の1を占め、10億円を超えていた。しかし、時間がかかったが、現在は都の給料表に準拠し、1人当たりの給料は「他市並み」となった。本市は他市と比べて財政規模が小さく、市民サービスは他市より劣る。民間では業績の悪い会社の社員のボーナスは低いのが実態である。本市の職員の期末勤勉手当が他市より低いことは当然と発言してきたが、その責任は経営者である市長にあると考えを変えた。よって、賛成する。

### 賛成討論 (要旨)

齋藤康夫 (市民会議)

かつて本市の人件費は一般会計予算の3分の1を占め、10億円を超えていた。しかし、時間がかかったが、現在は都の給料表に準拠し、1人当たりの給料は「他市並み」となった。本市は他市と比べて財政規模が小さく、市民サービスは他市より劣る。民間では業績の悪い会社の社員のボーナスは低いのが実態である。本市の職員の期末勤勉手当が他市より低いことは当然と発言してきたが、その責任は経営者である市長にあると考えを変えた。よって、賛成する。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

# 議案の審議結果

【会派略称】  
 公：小金井市議会公明党  
 会：こがねい市民会議  
 ネ：生活者ネットワーク  
 緑：緑・つながる小金井

自：自由民主党・信頼の小金井  
 み：みらいのこがねい  
 情：情報公開こがねい  
 明：小金井の明日をつくる会

共：日本共産党小金井市議団  
 お：小金井をおもしろくする会  
 改：改革連合  
 市：市民といっしょにカエル会

議決結果

付託先略称	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)																議決結果										
	自				共				公				み														
	吹春やすたか	湯沢綾子	河野律子	五十嵐京子	遠藤百合子	水上洋志	たゆ久貴	板倉真也	森戸洋子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義		白井亨	齋藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	沖浦あつし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子		
平成29年度小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について	決	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	議	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度小金井市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度小金井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	議	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度小金井市一般会計補正予算(第2回)	予	○	○	○	議	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小金井市介護保険特別会計補正予算(第1回)	予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市議会議員及び小金井市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	建	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小金井市一般会計補正予算(第3回)	予	×	×	×	議	×	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総	×	×	×	議	×	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市臨時職員の任用等に関する条例の一部を改正する条例	即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小金井市一般会計補正予算(第4回)	即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会教育長の任命に関し同意を求めることについて	即	○	○	○	議	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副市長の選任に関し同意を求めることについて	即	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市新庁舎・(仮称)新福祉会館建設基本設計委託事業者選考委員会及び評議員会設置条例(議員提案)	庁	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

# 請願・陳情の審議結果

【会派略称】  
 公：小金井市議会公明党  
 会：こがねい市民会議  
 ネ：生活者ネットワーク  
 緑：緑・つながる小金井

自：自由民主党・信頼の小金井  
 み：みらいのこがねい  
 情：情報公開こがねい  
 明：小金井の明日をつくる会

共：日本共産党小金井市議団  
 お：小金井をおもしろくする会  
 改：改革連合  
 市：市民といっしょにカエル会

議決結果

付託先略称	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)																議決結果										
	自				共				公				み														
	吹春やすたか	湯沢綾子	河野律子	五十嵐京子	遠藤百合子	水上洋志	たゆ久貴	板倉真也	森戸洋子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義		白井亨	齋藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	沖浦あつし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子		
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地代替施設の問題について民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべき事を求める陳情書	総	×	×	×	議	×	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都住宅供給公社の家賃引き下げを求める陳情書	建	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 閉会中の委員会日程及び審査案件

委員会名	開催日時	主な審査案件
議会運営委員会	10月25日(木) 午前10時 11月26日(月) 午後2時	市議の視察日当(日額2800円)を廃止し、「議会だより」フルカラー印刷化等の財源を捻出することを求める陳情書 市議会議員定数に関して、市民の意向調査を求める陳情書 議会改革に関する諸問題の調査 ①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について
建設環境委員会	11月5日(月) 午前10時	駅周辺整備に関する調査 市内都市計画及び住環境に関する調査 資源循環社会形成に関する調査
行財政改革推進調査特別委員会	11月12日(月) 午後1時	行財政改革の推進に係る諸問題の調査
総務企画委員会	11月14日(水) 午前10時	厳寒期の大雪災害に備え、各避難所にジェットヒーター等の導入を求める陳情書 社会福祉委員に意図的に条
厚生文教委員会	11月19日(月) 午前10時	小金井市難病者福祉手当条例の一部を改正する条例 小金井市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 公益財団法人小金井市体育協会への補助金の一部返還に関する陳情書 都において児童相談所・警察・学校などの連携・協力を進め、児童虐待防止対策の抜本強化・拡充するため意見書提出を求める陳情書 社協バス「みどり号」の存続を求める陳情書 小金井市市民税課、被保険者間で前年の合計所得金額に対し係争中であるところ被保険者の介護保険料の暫定的な決定に関する陳情書 子どもの権利に関する条例を推進するための計画の策定と継続的な検証を求める陳情書 子どもの最善の利益を保障する「子どもオンブズパーソン」の設置を求める陳情書 福祉的視点から、相談者に寄り添った母子父子自立支援員・婦人
庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会	11月21日(水) 午前10時	新市庁舎の床面積削減等による建築コスト削減等を求める陳情書 市庁舎の建設面積を削減することにより、図書館本館の建設を進めることを求める陳情書 公民館本館を新福祉会館と併設する旨の議会意思の確定を求める陳情書 新庁舎の床面積の大幅増に反対し、コンパクトでコストダウンの建設を求める陳情書 庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その1) 庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その2) 庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その3) 庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その4) 多くの市民が利用する福祉会館は、多くの職員がいる市庁舎の北側ではなく、採光や眺望の良い南面に建設することを求める陳情書 庁舎建設予定地北側(JR中央線高架下)からの道路の恒久的確保を求める陳情書 庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査
相談員の相談体制の充実を求める陳情書	臓器移植の環境整備に関する意見書の提出を求める陳情書	子ども施策に関する諸問題の調査

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。  
 「小金井市議会 会議録」で検索 (<http://asp.db-search.com/koganei-c/>)



# 一 般 質 問

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

(4面～6面) 9月4日、5日、6日、7日

## 会 派 の 略 称

(自民党・信頼) 自由民主党・信頼の小金井	(情 報 公 開) 情報公開こがねい
(日本共産党) 日本共産党小金井市議団	(改 革 連 合) 改革連合
(公 明 党) 小金井市議会公明党	(生活者ネット) 生活者ネットワーク
(み ら い) みらいのこがねい	(こ が あ す) 小金井の明日をつくる会
(こ が お も) 小金井をおもしろくする会	(市民カエル) 市民とっしょにカエル会
(市 民 会 議) こがねい市民会議	(緑・つながる) 緑・つながる小金井

## 休日診療のための当番薬局を事業化しないか



小林正樹 (公明党)

①市が委託をして医師会・歯科医師会に休日診療を当番制で実施して頂いている。薬局は、長年にわたって、自主的に薬剤師会に開けて頂いている。多摩26市中では17市で何らかの補助などの対応がなされている。処方せんを持った市民が安心して休日に薬を購入できるような小金井市でも事業化しないか。

総務部長 河川から離れた場所での浸水対策とそれに伴う訓練の必要性は感じている。より多く参加いただけるよう消防署とも連携協議しながら検討する。

②毎年5月に都立武蔵野公園野川第2調節池で総合水防訓練が実施されている。必要財源の確保に努めながら内部で検討したい。

福祉保健部長 本市においても重要課題と考える。必要財源の確保に努めながら内部で検討したい。

## 子ども発達支援施策の事業総括をしないか



鈴木成夫 (みらい)

児童発達支援センターきらりの実施事業は、利用対象者のニーズを満たしているか。(ア)巡回相談の現状と課題解消に向けた考えは。(イ)開設5年を機に、事業詳細計画を見直しをしないか。

福祉保健部長 (ア)提供しているサービス内容については、一定程度高い評価をいただき、それなりにお応えしているが、市内対象施設全てに対し巡回を行うことは、専門職の人員的にも施設キャパシティ状況から、かなり難しい状態になってきている。今後、人員体制や関係機関とのネットワークを更に充実させ、

一層の発展に努め、早期発見について、児童発達支援センター運営協議会と一緒に手だてを検討しなければいけない思いがある。また、児童発達支援センター運営協議会から小・中学校との連携にはまだ課題があることのご指摘もあり、より一層連携に注力する必要があると考えている。(イ)将来的に計画更新も必要となることを視野に入れ、未着手事業の検討を早急に行い、また療育機関につながるような、発達に心配のある児童のニーズの集約、把握のためには、巡回相談のように、児童発達支援センターから外向いていくことが必要な方策と考えている。

## 読書環境向上へ図書館団体貸出しの改善を



沖浦あつし (こがねい)

(ア)図書館の団体貸出しサービスを利用する場合は任意であるが、全く利用をしていない学校がある。その理由は。(イ)一度利用を止めてしまおうと復活しづらい制度になっている。特に選書に關して負担を感じる人が多いためではないか。あらかじめバック詰めしたものを提供の方が助かるという声がある。団体貸出しバックを行わないか。(ウ)通年で未利用の学校、学級を何とかしたい。団体貸出しバックを他の学年の分も実施することは、現状以上に予算がかかる話ではなく、むしろ作業負担の軽減につながる。

生涯学習部長 (ア)利用していない学校、学級があることは認識しているが、その理由については把握していない。(イ)他市の事例もあり、本市でも実施できるか調査、検討している。図書館本館でこの2学期の団体貸出しから、一年生用に、団体貸出しバック30冊詰めを9箱作った。貸出状況を参考に更に検討を進める。(ウ)未利用の学校には訪問する機会に案内するなど、状況も伺う。団体貸出しバック方式にした場合、保管場所や作業場所も必要になり、適所がないのが現状だが、今後柔軟に検討していく。

生涯学習部長 川崎平右衛門の業績は質問のとおり小金井市の象徴である。川崎平右衛門の業績を後継する目的で、功績を広める目的の研究会の催しには教育委員会としてもその趣旨に大いに賛同する。

## 川崎平右衛門研究会を誘致しよう



篠原ひろし (改革連合)

徳川吉宗、大岡越前の命により現開野町に拠点(陣屋)を置き、武蔵野から現埼玉県に至る武蔵野台地の新田開発に尽力し、成し遂げた川崎平右衛門は二宮尊徳に勝るとも劣らない業績を残した。その業績を確認し、また評価して現代にいかす研究会が2年前に発足している。

生涯学習部長 川崎平右衛門の業績は質問のとおり小金井市の象徴である。川崎平右衛門の業績を後継する目的で、功績を広める目的の研究会の催しには教育委員会としてもその趣旨に大いに賛同する。

生涯学習部長 川崎平右衛門の業績は質問のとおり小金井市の象徴である。川崎平右衛門の業績を後継する目的で、功績を広める目的の研究会の催しには教育委員会としてもその趣旨に大いに賛同する。

## 人と組織のデザイン 女性管理職比率について



白井 亨 (こがねい)

女性管理職比率の高さは業績に影響するという民間の調査データもある。小金井市の女性管理職割合は13.6%で多摩26市中16番目と少し低い。(ア)市の女性管理職比率に対する目標は。(イ)女性に関する昇進意欲に課題があるのではないか。(ウ)民間の調査・分析によると女性昇任意欲を引き下げているのは「不平等」「長時間労働」とある。市でも女性の昇任意欲を育む職場環境作りのための実態調査・分析をしてはどうか。(エ)結局は多様性が課題である。今後どう取り組むか。

総務部長 (ア)女性職員

## 職員へのAI勉強会を 災害時SNS活用を



吹春やすたか (自民党・信頼)

①日々様々な分野でのAIの頻繁な活用状況が報告されている。行政にも、その流れはある。他の自治体では様々な事例で取組が進められている。本市でも、先進事例に倣い、AIの導入を進めるため、庁内の幅広い部署から若手職員を集め勉強会を発足しないか。

企画財政部長 こがねい

あした研究所や自主的な集まりが考えられる。先進事例に注視し研究に努めていく必要があると考えている。

②西日本豪雨では、逃げ遅れて命を落とされた方が多数いる。中間報告では再三出ている警告よりも、逃

## 職員へのAI勉強会を 災害時SNS活用を



吹春やすたか (自民党・信頼)

①日々様々な分野でのAIの頻繁な活用状況が報告されている。行政にも、その流れはある。他の自治体では様々な事例で取組が進められている。本市でも、先進事例に倣い、AIの導入を進めるため、庁内の幅広い部署から若手職員を集め勉強会を発足しないか。

企画財政部長 こがねい

あした研究所や自主的な集まりが考えられる。先進事例に注視し研究に努めていく必要があると考えている。

②西日本豪雨では、逃げ遅れて命を落とされた方が多数いる。中間報告では再三出ている警告よりも、逃

### 市民課窓口業務の委託化計画を撤回せよ

板倉真也 (日本共産党) 市民部長 (ア)先進事例で出てきたものをきちんと踏まえながら、他市の事例も参考にしつつ、注意を払って委託を進めていく。(イ)先進事例若しくは各省庁から出ている通知、質疑応答集を勘案しながら、市も業者もきちんと取り組んでいく形になる。



来々年4月からのフロア案内業務、郵送請求業務を皮切りに、市民課窓口業務の民間委託をスタートさせようとしている。(ア)情報漏えいの不安、偽装請負の懸念にどのように対応しようと考えているのか。(イ)対応方針を持たずに突き進もうとしているのか。(ウ)4年間の委託であるため、4年後には事業者が変わる場合もあり得る。そうなる一からやり直しになる。委託業者の職員は、他に条件が良いところがあればそこに移ってしまい、人が入れ替わっていくという問題もある。委託は即刻撤回すべき。

### 魅力ある公園整備と「キンヒバリの里」購入



村山ひでき (みらい) つであり大変面白い。(ウ)具体的な協議は公園等整備基本方針の策定後となる。

①公園等整備基本方針を策定すべくワークショップ等を開催中である。(ア)遊具の保守点検は。(イ)まちづくり条例や宅地開発等指導要綱に基づく小規模な提供公園に、健康づくり促進策として高齢者用の健康器具を設置してウォーキングマップを作成しては。(ウ)これ以上の提供公園は不要である。早急に条例や要綱を改正し公園協働金として公園全体の維持管理に使うべき。

### 学区の見直しと放課後の在り方を問う

岸田正義 (みらい) 見直すべき。(ウ)放課後子ども教室拡充に向けて担当の最大限の努力を求める。



①4年後の小学校児童数予測は82名増加。学区の見直しだけでなく、稀に見る児童増加への対応が必要。環境を整えるのは我々の責務である。(ウ)担当として課題解決に努める所存である。

### 都市農業の振興策・障がい福祉施策の推進を



渡辺ふき子 (公明党) 企画財政部長 (ア)まずは多様性を認め合う社会の実現に向け、人権・男女平等意識が浸透、定着するように情報提供、啓発活動する。

①都市農業を円滑化する法律が施行された。(ア)新たな特定生産地への移行とともに、市民農園等の整備を進めないか。(イ)都の補助金を使ってハクビシン等の害獣対策を行うべき。

### 非常勤職員の待遇改善を 福祉売店の常設を

坂井えつ子 (緑・つながる) ワゴン販売という答弁が出たが、常設での店舗設置を要望する。(ウ)福祉売店の意義は。



①非常勤職員なしには市役所の仕事は回らないにもかかわらず、有期雇用で、待遇の低い非常勤職員を地方公共団体が雇用することには疑問である。無期雇用の正規職員より待遇を厚くすべき。来年度、待遇改善を。

### 保育の量と質の拡充を求める



水上洋志 (日本共産党) 障がないよう、必要な職員の確保に努めていく。

①保育の量と質の拡充を求める。(ア)待機児童解消について、今後事業計画を作るとして、今後事業計画の目標と計画を持つべき。(イ)公立保育園の民営化計画についての見直しと保育の質を高める。

### 公共施設マネジメントと行革の推進を

河野律子 (自民党・信頼) 使用済みおむつの持ち帰りを見直し、保護者・事業者の負担軽減を図らないか。



①清里山荘の設備修繕等を行い、より快適な施設に。生涯学習部長 修繕等、適切な方法で維持管理する。

### 学校給食を無償化し 食のセーフティネットを



たけ久貴 (日本共産党) が他市と比べて進んでいない。また全ての教室・体育館へのエアコンの設置もされていない。トイレを我慢する子どもや、暑くて授業に集中できない子どもがいる。

①今、全国の自治体で給食の無償化が進んでいる。本来憲法26条で義務教育は無償とされているのに実際には給食費など年間5万円から7万円も教育にお金がかかっている。保護者の経済的負担は大きい。

### 子どものおたふくかせ ワクチンの公費助成を

紀由紀子  
(公明党)



妊娠初期の女性が感染すると赤ちゃんが難聴や白内障、心臓病などを伴う「先天性風疹症候群」の恐れがある。風疹の予防接種の周知啓発や無料の抗体検査を行わないか。

① 榎原村では、おたふくかせ(流行性耳下腺炎)の予防のため本年7月からワクチンの任意接種の公費助成を実施した。罹患して難聴になることもあり一生に

関わることもなる。(ア)公費助成を行わないか。(イ)医師会から話はあるか。(ウ)半額助成すると財源は300万円程度必要とのことだが行うべきである。

### 健康寿命延伸の鍵は「フレイル予防」

遠藤百合子  
(自民党・信頼)



① フレイルとはストレスに対する回復力が低下した状態を表す。高齢者の男性7割、女性の9割がフレイルになる統計を見ると、早期の発見と対策が必要である。(ア)予防施策の現状とフレイル予防の重要なポイント

② 今後の小学校入学予定者増加が予想される。(ア)人口統計調査の将来予測は。①学級数と学級人数のバランス等の年次計画は。(ウ)学区域再編成の考え方は。

③ 今後の小学校入学予定者増加が予想される。(ア)人口統計調査の将来予測は。①学級数と学級人数のバランス等の年次計画は。(ウ)学区域再編成の考え方は。

### 児童虐待の防止のために

湯沢綾子  
(自民党・信頼)



① 目黒区で余りにも痛ましい虐待事件が起きた。児童相談所の虐待対応件数は年々増加し、人手不足が心配される中、市町村との役割分担も重要な課題である。

② 乳幼児健診を未受診の子どもはリスクが高いと言われる。未受診者の所在や状況等を把握しているか。

③ 学校や教職員は虐待を発見しやすい環境にあるか。疑いを発見した場合の迅速な対応はとれているか。

### 住宅での福祉サービス・医療の充実

斎藤康夫  
(市民会議)



(ア)日本では、精神科入院患者の社会的入院数が多いと問題視されている。国や都の今後の意向はどうか。

② 今後の小学校入学予定者増加が予想される。(ア)人口統計調査の将来予測は。①学級数と学級人数のバランス等の年次計画は。(ウ)学区域再編成の考え方は。

③ 今後の小学校入学予定者増加が予想される。(ア)人口統計調査の将来予測は。①学級数と学級人数のバランス等の年次計画は。(ウ)学区域再編成の考え方は。

### かまどベンチ・訪問医療・子どもオンブズ

田頭祐子  
(生活者ネット)



① 東京都の避難所運営の指針には、女性の視点に配慮したチェックシートがある。市のマニュアルは対応しているか。

② 不登校、いじめについて。子どもの権利侵害は無くなっていない。救済までの運営マニュアルも見直す。

③ 環境部長 (イ)今後の計画は地域安全課と協議し防災計画での位置づけが必要。

### 市民常識に適合した庁舎・福祉会館建設に

渡辺大三  
(情報公開)



庁舎・福祉会館建設について。(ア)広場・緑地面積を最大にできる配置案(B-12案などが参考となる)を採用すべき。

② 環境部長 (ウ)市としてCrei2で決定したので仮移転の準備を進めている。

③ その他、「市長の選挙公約は緊急に40億円を生み出す人件費の削減だった。しかし、総額人件費が就任以来増えている。公約に反すると認めるか」について質問しましたが、市長から答弁はありませんでした。

### ケースワーカーを行政のトッパーランナーに

片山 薫  
(市民力エール)



① (ア)小田原市を参考に生活保護のしおりの改善とHPでの掲載を。(イ)エアコン設置の周知と修理代を住宅維持費で。(ウ)担当ケースを1人80世帯以下に。女性、経験者、専門職の配置を。

② (ア)いじめ防止条例は、当事者の意見反映、子ども

③ その他、「社会教育と公民館活動による住民自治を市の政策基本に」というテーマで質問しました。

### 介護保険サービスの在り方について問う

森戸洋子  
(日本共産党)



① 国の施策は問題だが、高齢者が安心して在宅で過ごすため、医療と介護の連携体制が求められている。

② 都市整備部長 (ア)要請を受け、新小金井駅や東小金井駅南口の商店会等に説明するよう連絡した。

③ その他、「社会教育と公民館活動による住民自治を市の政策基本に」というテーマで質問しました。

# 意見書・決議の審議結果

【会派略称】  
 公：小金井市議会公明党  
 会：こがねい市民会議  
 ネ：生活者ネットワーク  
 緑：緑・つながる小金井

自：自由民主党・信頼の小金井  
 み：みらいのこがねい  
 情：情報公開こがねい  
 明：小金井の明日をつくる会

共：日本共産党小金井市議団  
 お：小金井をおもしろくする会  
 改：改革連合  
 市：市民といっしょにカエル会

議 決 結 果

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)

自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	明	市	緑											
吹	湯	河	五	遠	水	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂
春	沢	野	十	藤	上	倉	戸	邊	林	由	下	山	木	田	井	藤	原	原	頭	浦	山	井
やす	綾	律	嵐	百	洋	久	真	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	康	ひろ	祐	あ	あ	つ	山	え
た	子	子	京	合	志	貴	也	ぎ	樹	子	誠	で	夫	義	夫	し	し	し	つ	つ	山	つ
か																						

※可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

件 名	要 旨 (提案議員が作成)	吹	湯	河	五	遠	水	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂
水道事業の民営化を進める水道法改正案に反対することを求める意見書	水道料金が4年で倍になった上に、寄生虫混入事故が起きたシドニーの例もある。世界中の自治体が水道事業民営化から再公営化している。この分析や周知もない。命の根幹にも関わる水道事業民営化への反対を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○
児童虐待防止策の充実を求める意見書	3月に目黒区で起きた事件を教訓に、東京都に対して①児童福祉司の国基準での人員配置と緊急増員を行うこと、②児童相談所の緊急増設を行うこと、③児童福祉司の人材育成に向けた対策を早急に行うことを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
障害者雇用の水増し問題の全容解明と再発防止を求める意見書	障害者雇用についての厚生労働省の調査では、雇用障害者数が実際は半数にも届いておらず、人数を偽っていたのは、33の行政機関のうち27に上っている。全容解明と再発防止、障害者雇用の促進を政府に求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
玄海原発4号機の再稼働に抗議し、「原発ゼロ」の実現を求める意見書	国が避難計画策定を義務付けた玄海原発の半径30キロ以内には20の有人離島があり、悪天候時の避難は困難である。使用済核燃料の行き先も未定で、課題は山積みである。再稼働に抗議し、原発ゼロの実現を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
改憲発議を行わないことを求める意見書	安倍首相が行おうとしている改憲は、海外で無制限の武力行使を認めるものである。また、改憲の議論は国民の間で十分に行われる必要がある。恒久平和と戦争放棄をうたった憲法の改憲発議を行わないことを求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
死刑制度の廃止を求める意見書	オウム真理教による事件は許されず、死刑判決の13人は罪を償うべきであるが、死刑執行のうち10人は再審請求中であった。国際的潮流は死刑廃止である。全ての人の生きる権利を尊重すべきであり、死刑廃止を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	△	○	
女性差別をなくし、等しく教育を受ける権利、職業を選ぶ権利の保障を求める意見書	女性にとって教育や職業の選択が保障される社会となるために、医科系大学を含む全ての大学入試、国家及び地方公務員採用試験の性別割合を調査し、結果を公表し不当な扱いを是正する処置を取ることを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
トリチウム等汚染水の海洋放出に反対する意見書	各地の公聴会で懸念が示された、福島第一原発のトリチウムやヨウ素129等の放射性物質を含む汚染水の取扱いは、海洋放出以外のタンクでの長期保管と、国民に対し情報公開し、正確な情報提供を行うよう求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	大阪府北部の震度6弱の地震で、学校施設のブロック塀が倒壊し児童が死亡したことは、大変痛ましく早急な対策が必要である。全国の通学路のブロック塀等の緊急総点検と安全対策の財政支援等の積極的な対応を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書	目黒区で両親から虐待を受け女児が死亡する痛ましい事件が発生した。児童虐待防止対策の更なる強化に向け、①児童相談所強化プランの拡充、②児童相談体制改革、③情報共有できるシステムの構築等の取組を強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書	水道は、施設の老朽化や耐震化の遅れなど大きな課題がある。地方公共団体等とこれまで以上に連携し、国民の命を守るインフラである水道の戦略的な基盤強化に取り組むため、国庫補助所要額の確保や推進を求める。	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	△	×	○	○	×	△	×	×	
消費者被害を防止・救済する実効的な消費者契約法改正等を求める意見書	合理的判断ができにくい事情を利用して契約を締結する「つけ込み型契約」、特に高齢者・若年成人・障がい者等の判断力不足を利用し、不利益をもたらす契約の勧誘の取消権規定について、早急に検討することを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
調布飛行場の自家用機運航受付再開に関する意見書	小型航空機墜落事故後自粛されていた自家用機の運航受付を再開した。市民が同意できる協定・覚書は実現できていない。自家用機の撤廃に最大限取り組むことや、万全な安全対策と厳格な管理運営の徹底などを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## 児童虐待防止策の充実を求める意見書

### 賛成討論(要旨)

#### 紀由紀子(公明党)

児童虐待の痛ましい事件が二度と起きないように緊急対策が必要である。国では公明党の児童虐待防止策の抜本強化に向けた緊急提言を反映させ、児童福祉司の大幅増員や、子ども家庭総合支援拠点の設置促進等も盛り込んだ児童虐待防止対策体制強化プランを年内に策定する。本意見書の中の児童相談所の緊急増設は、都でなく練馬区を除く各区が自ら設置すると表明しているため違っているが、その他の部分に賛成し、本意見書に賛成する。

## 改憲発議を行わないことを求める意見書

### 反対討論(要旨)

#### 遠藤百合子(自民党・信頼)

1951年9月8日に調印されたサンフランシスコ平和条約の発効により、日本の連合国による占領は終わり、日本は主権

## 議員の住所が変わりました

平成29年5月30日発行の市議会だより第256号に掲載した名簿の情報から変更のあった内容についてお知らせします。  
 渡辺大三(情報公開こがねい)  
 住所 中町3-26-15第三畑山コーポ301  
 ※ 電話番号の変更はありません。

**広報協議会**

次の日程で開催しました。会議の様子はYouTubeでご覧いただけます。

- 8月28日(火)
- 9月20日(木)
- 10月22日(月)

**全員協議会を開催しました**

【11月5日】

- ▼ 新庁舎等建設設計画調査について
- ※ 本協議会では追加調査の中間報告を受け、協議を行いました。

### 賛成討論(要旨)

#### たゆ久貴(日本共産党)

安倍首相が行おうとしている改憲の狙いは、自衛隊の海外派遣と武力行使の全面憲法化にある。自衛の名の下に集団的自衛権の行使も認め、海外で無制限に戦争できる軍隊を持つとするものであり、恒久平和と戦争放棄をうたった日本国憲法を根本から変えてしまえば、日本を戦争ができる国にするものである。また、国会や国民の間でも議論が不十分であり、多くの国民が望んでいない状況で改憲を行うべきではないと考える。よって、賛成する。



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

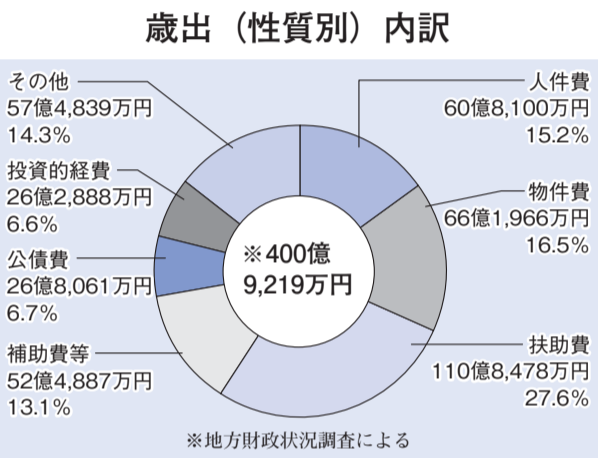
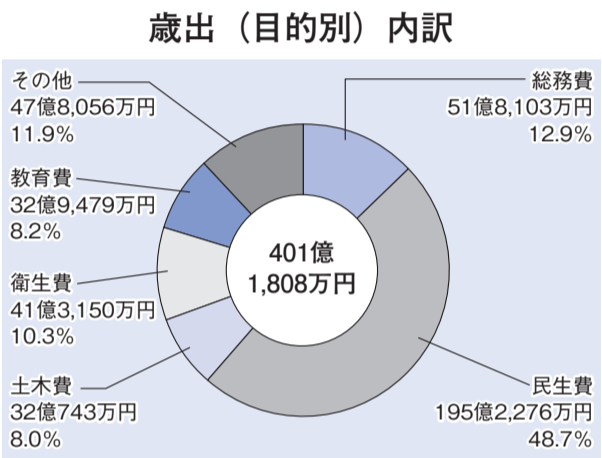
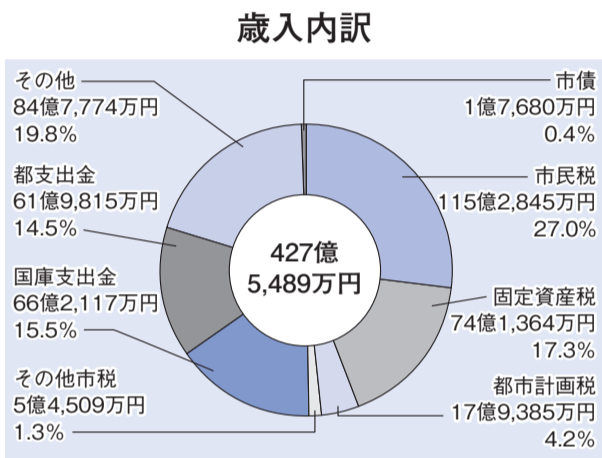
原稿は議員が作成しております

# 特集 平成29年度 一般会計 特別会計 決算特別委員会

市議会第3回定例会の決算特別委員会では平成29年度の決算を審査いたしました。4つの特別会計を含む5会計総額は歳入で660億円を超え、昨年からは約2億円増と過去最大規模の決算となりました。歳出は5会計総額で前年対比では約5億円の減となっています。一般会計の歳入は市民税の増などの影響で前年比では微増となりました。一方歳出面では民生費が約14億5,600万円増で歳出に占める割合が48.7%（前年比3.8%増）と増加の一途であるも

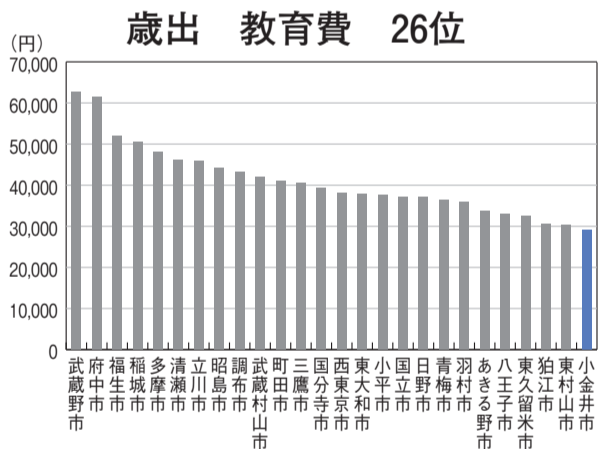
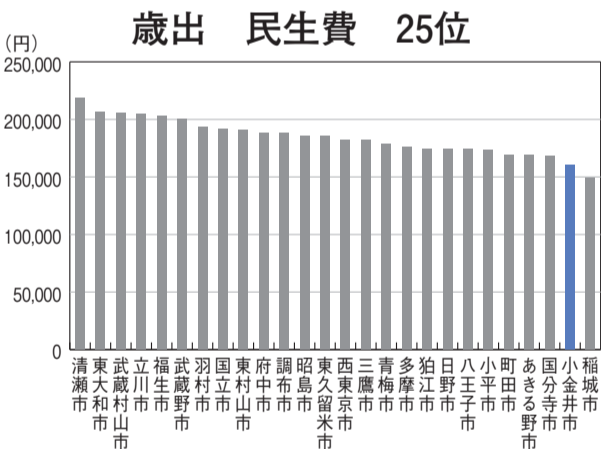
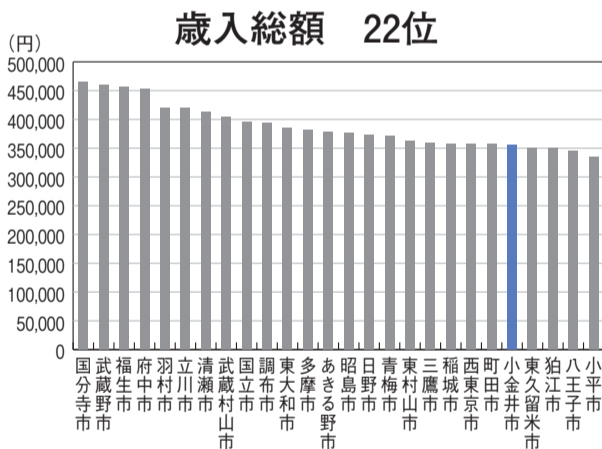
の、投資的経費や積立金が減となったことから前年比で減となっています。一般会計における他市比較では、かねてから市議会で指摘されてきた市民1人当たりの歳入額総額は多摩26市中22位、歳出では市民1人当たりの民生費において25位、教育費において26位と引き続き低い額となっている点が課題として挙げられています。

	歳入の部 (円)			歳出の部 (円)		
	平成28年度決算額	平成29年度決算額	決算額比較	平成28年度決算額	平成29年度決算額	決算額比較
一般会計	423億4,581万	427億5,489万	+4億908万	402億4,353万	401億1,808万	△1億2,545万
国民健康保険特別会計	122億5,550万	115億8,422万	△6億7,128万	122億247万	114億1,691万	△7億8,556万
下水道事業特別会計	14億1,743万	14億2,625万	+882万	13億8,447万	13億6,156万	△2,291万
介護保険特別会計	73億4,695万	77億6,439万	+4億1,744万	72億2,603万	76億2,559万	+3億9,956万
後期高齢者医療特別会計	24億6,753万	25億630万	+3,877万	24億5,981万	24億9,116万	+3,135万
合計	658億3,322万	660億3,605万	+2億283万	635億1,631万	630億1,330万	△5億301万



## 他市との比較 市民1人当たりに換算

※地方財政状況調査による（平成30年1月1日の人口から算出）



## 「庁舎及び福祉会館建設」経過報告

○9月18日：市議会6会派12人（自民党・信頼、公明党、こがおも、生活者ネット、市民カエル、緑・つながる）から、市長に対し4項目の前提条件からなる新たな施設配置案検討を求める申入れがありました。なお、同日に開催した庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会にて、同様の趣旨の意見が市議会2会派5人（日本共産党、情報公開）からも表明がありました。

【4項目】清掃関連施設の敷地内暫定移設は行わないこと／福祉会館を先行竣工すること／敷地東側の樹木を残すこと／庁舎の免震構造の地下部分を地下駐車場として活用すること

○9月25日：庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会にて市長から「平成31年度には基本設計着手を目指し、追加調査に必要な経費は、市議会のご理解いただけるよう適切に整理し、議会とも共有を図り10月末を目途に中間調査結果を取りまとめ、11月に開催予定の市民説明会で、市長就任時から現在までの経過と追加調査の結果についても説明したい」と表明があり、議会の新たな提案に応えた追加調査を行うことになりました。

○10月5日：本会議で追加調査のための補正予算が上程され可決しました。

〈以降の流れ〉10月末を目途に追加調査の中間調査結果取りまとめ→11月中に市民説明会を5回開催→平成31年に基本設計着手予定

## 新しく生み出した8面の特集ページと毎号のカラー化について、皆さまからのご意見をまとめました

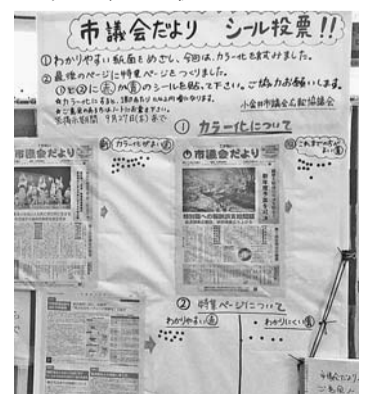
新しく生み出した8面の特集ページと毎号のカラー化について、9月30日までに、メール、電話、ご意見ノートなどで17件・37項目の声が寄せられました。頂いたご意見に感謝いたします。また8月28日から9月27日まで、本庁舎4階と第二庁舎1階・入口で実施したシール投票の結果は次のとおりです。

- ①カラー化について：カラー化がよい56枚・これまでの方がよい20枚
- ②特集ページについて：わかりやすい46枚・わかりにくい14枚

〈主なご意見〉カラーは見やすい。嬉しい。カラー化だけでは意味がない。レイアウトなど見直しが必要である。内容はシンプルにしてほしい。文字が多すぎる。1面の写真を工夫してほしい。声の広報を分かりやすくしてほしい。など

これらを踏まえ市議会では、次年度の毎号分のカラー化予算要望を決めました。（結果は未定）

特集ページを始め、紙面の分かりやすさなどは、引き続き大きな課題として取り組めます。今後とも議会や議会だよりへのご意見などお寄せ下さい。



第二庁舎で実施したシール投票パネル

次の定例会は平成30年11月29日(木)開会予定です。